

# 「新型コロナウイルス感染症拡大が子育て環境や生活に及ぼす影響に関する」アンケート協力の御礼とご報告

本年8月に実施いたしました「新型コロナウイルス感染症拡大が子育て環境や生活に及ぼす影響に関する」アンケート回答の御礼とご報告を申し上げます。ご多用のところ、多くの皆様にご協力いただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

町内のどのご家庭が子育て中であるか、町内会は把握しておりませんので、今回のアンケートは丸山地区、大平山地区の子供会を介してのお願いが中心になりました。結果として、子育て世代45名の方からご回答をいただきました。本日は、東京大学高齢社会総合研究機構（IOG）に分析していただいた結果につきまして、次頁以降で、その概要をご報告申し上げます。

今後は、この貴重な調査結果を活かし、子育て世代が暮らしやすいまちづくりに関して、積極的に取り組んでいこうと考えております。引き続き、ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

令和2年10月8日

大平山丸山町内会まちづくり推進委員会  
東京大学高齢社会総合研究機構

# 「新型コロナウイルス感染症拡大が子育て環境や生活に及ぼす影響に関する」

## アンケート 分析結果（概要）

### 1 アンケートの概要

- (1) 調査の目的：町内に居住する，子育て世代（孫を育てている方も含む）を対象に，新型コロナウイルス感染症拡大が，子育て環境や生活に及ぼす影響を明らかにすること。
- (2) 調査項目の作成：推進委員会内の子育て支援分科会が，東京大学 IOG の協力により設問を作成した。
- (3) 調査方法・回収数：大平山丸山地区に居住する子育て世帯（子供会への所属世帯を中心）に，インターネット調査を実施。回収数（及び有効回答数）：45 名。
- (4) 集計・分析：東京大学 IOG で調査結果の集計・分析を行った。
- (5) 調査項目：回答者の基本情報，働き方や生活の変化，子育てや子どもの様子の変化，子育て環境の変化。
- (6) 回答者の属性
  - ① 性別：女性が9割，男性が1割だった。
  - ② 年齢構成（図1）：40代が半数強，50代が1/4強で，30代が2割だった。
  - ③ 子どもの学年（図2）：就学前の子どもがいる回答者が12名，小学生（1～3年）：22名，小学生（4～6年）：23名，中学生：21名，高校生：12名，大学生以上：2名となっていた。

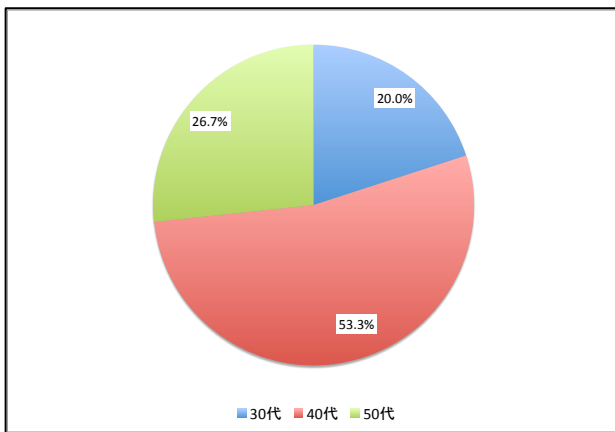


図1 回答者の年齢構成 (N=45)

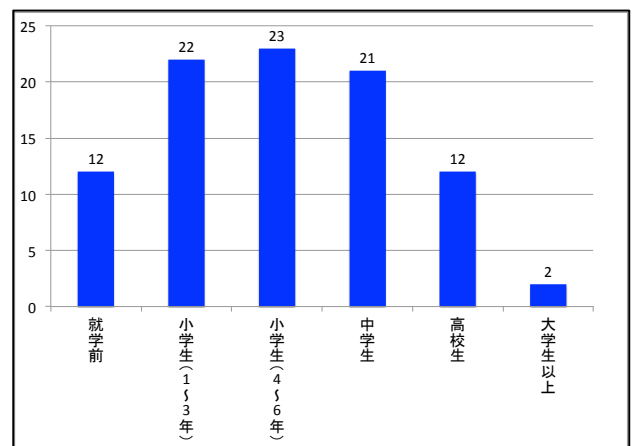


図2 子どもの学年 (N=45)

### 2 生活の状況

- ★ 在宅勤務の状況（図3）→「ほぼ毎日」が1/3程度，「週に数回」が約3割，そして，「在宅勤務はしていない」が，4割弱となっていた。

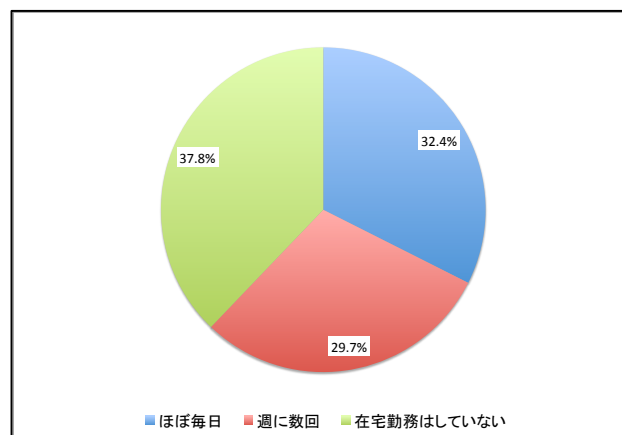


図3 在宅勤務の状況 (N=37)

- ★ 新型コロナの流行前と比べた日々の過ごし方の変化 (図4) → ①「家事をする時間」, 「家族と一緒に食事をする時間」, 「家族と会話をする時間」は増えている。②「パソコンやタブレットを見る時間」も増加傾向にある。③「仕事の時間」, 「睡眠時間」, 「テレビやビデオを見る時間」, 「読書や勉強の時間」, 「散歩や屋外での運動の時間」は変化が少ない。④「友人と会う時間」と, 「サークルや趣味活動の時間」の減少が顕著である。⑤「買い物に行く時間」, 「自分の好きなことをする時間」も減少傾向にある。

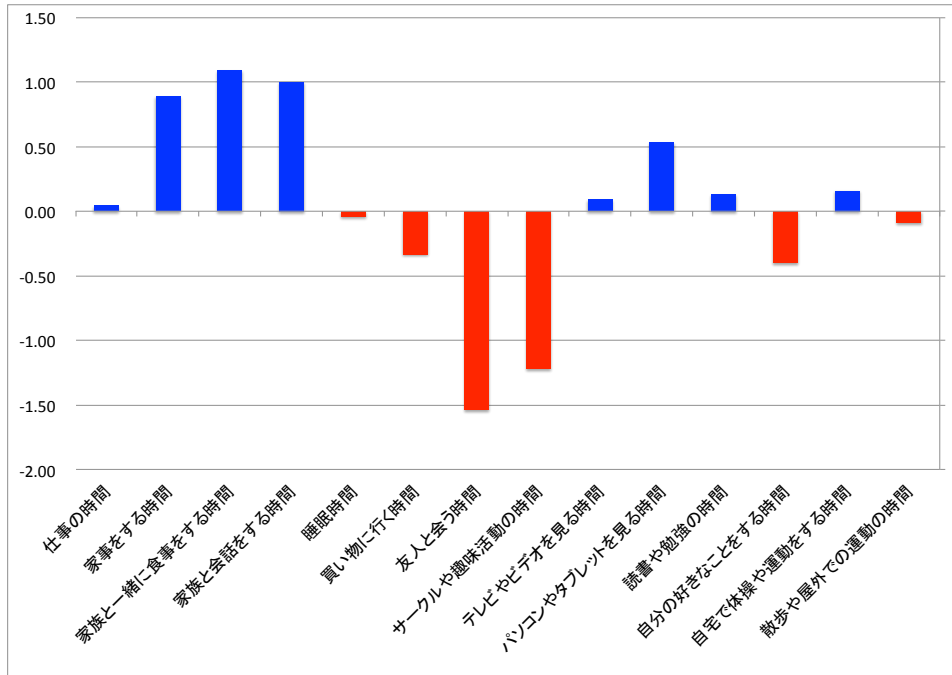


図4 新型コロナの流行前と比べた日々の過ごし方の変化 (N=45)

\* 「とても増えた」を2点, 「やや増えた」を1点, 「ほとんど変わらない」を0点, 「やや減った」を-1点, 「とても減った」を-2点, に換算した平均値の比較。

- ★ 保護者の「こころの健康」(図5) → 「11~15点」が最も多く (44.4%), ついで「16~20点」が多くなっていた (26.7%)。なお, 13点未満の「注意が必要」という層も 1/3 強見られた。

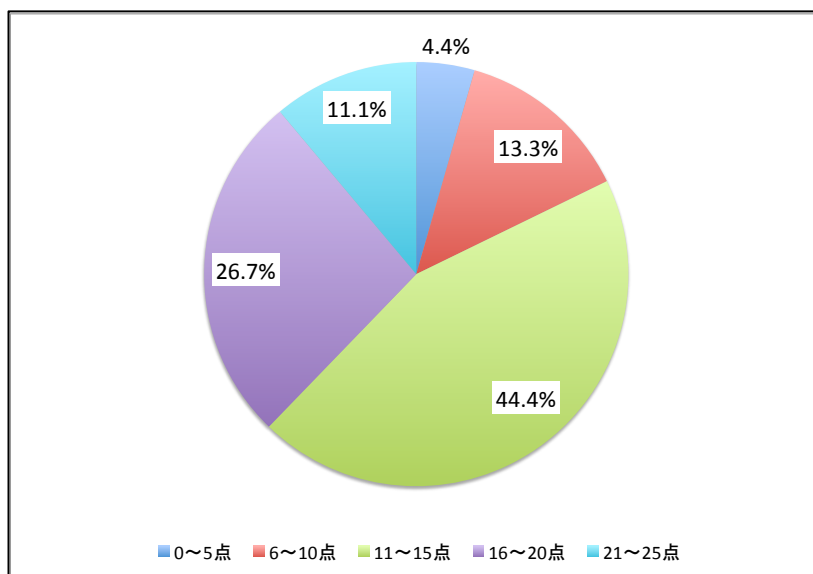


図5 保護者の「こころの健康 (WHO-5)」 (N=45)

\*4項目の合計点 (25点満点)。

### 3 子育ての状況

- ★ 子育てに関する時間（図6）→ 「ほぼ同じ」とする割合が1/4強でそれ以外は、軒並み増えている状況にある。3時間以上増えているという割合も1/3を超えていた。

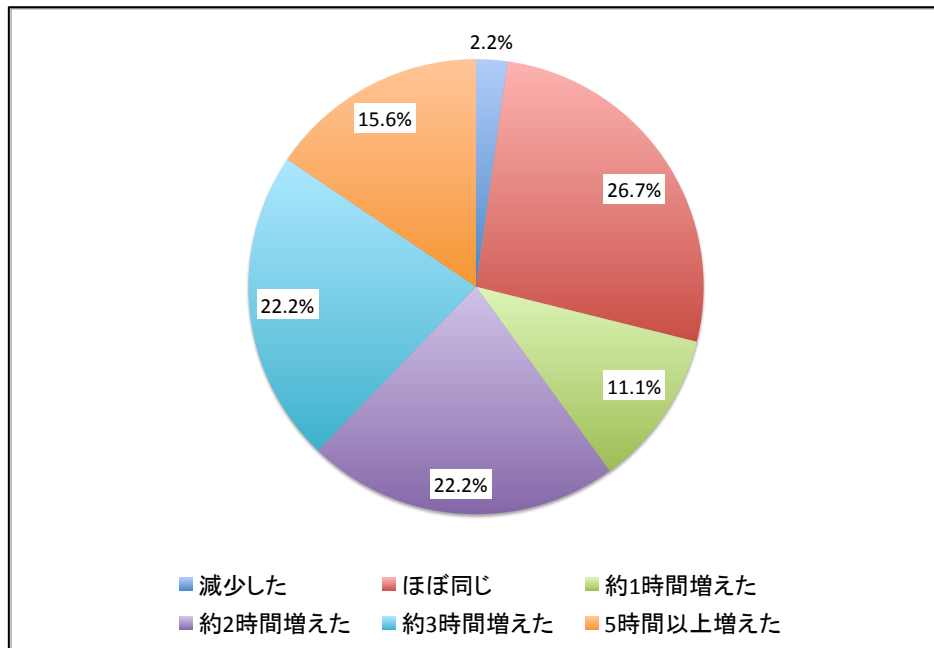


図6 子育てに関する時間の変化 (N=45)

- ★ 子どもに接する時間（図7）→ ①勉強や学習を自宅で見ると時間や、子どもと一緒に自宅で遊ぶ時間は増えている。②子どもと一緒に外に出かける時間は、減少している。③子どもの相談にのる時間や、子どもと一緒に家事をする時間も増えている。

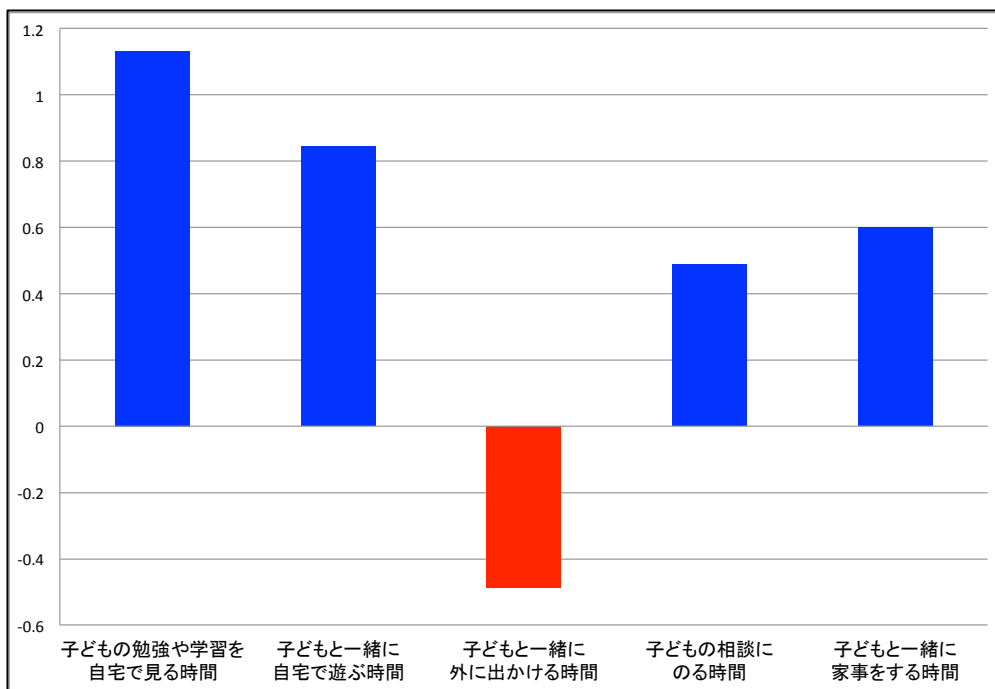


図7 子どもに接する時間の変化 (N=45)

- \* 「とても増えた」を2点、「やや増えた」を1点、「だいたい同じ/変わらない」を0点、「やや減った」を-1点、「とても減った」を-2点、に換算した平均値の比較。

- ★ 子どもの室内での活動時間（図 8）→①全体的に増加傾向にある。②具体的には、勉強・学習活動、読書、動画の視聴、音楽・音声の視聴、ゲーム、制作・表現活動の時間が増加している。③運動・活動的な遊びは減少傾向にある。④友達との遊びや交流は、減っている家庭が多い。

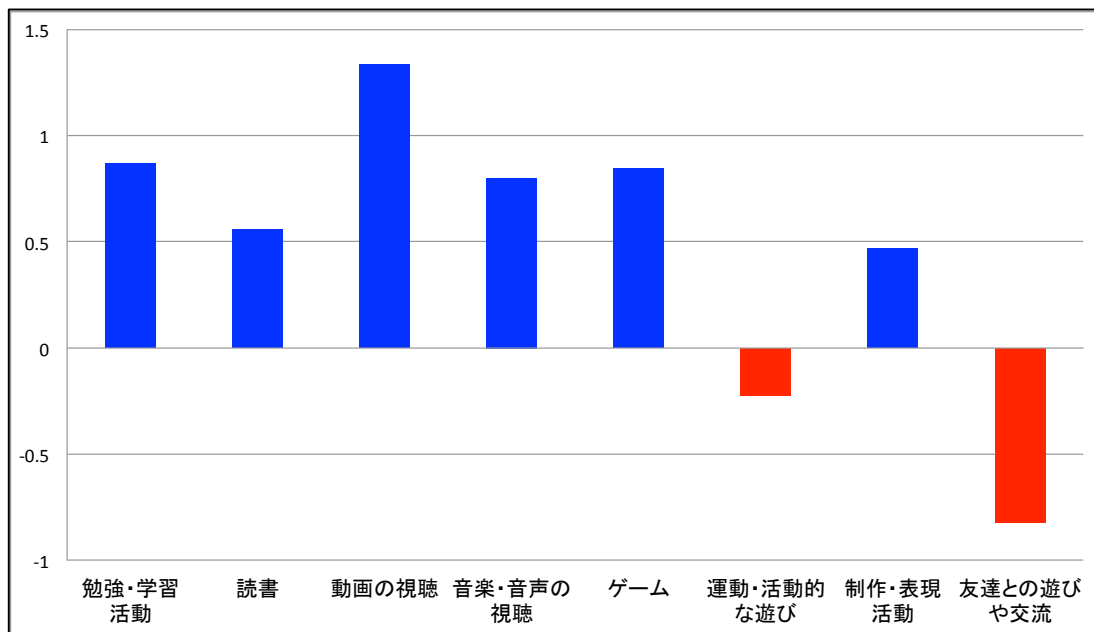


図 8 子どもの室内での活動時間 (N=45)

\* 「とても増えた」を2点、「やや増えた」を1点、「だいたい同じ変わらない」を0点、「やや減った」を-1点、「とても減った」を-2点、に換算した平均値の比較。

- ★ 子どもの屋外での活動時間（図 9）→自粛期間中の屋外での活動時間は、「とても減った」が5割強となっている。「やや減った」を合わせると、3/4を超える。

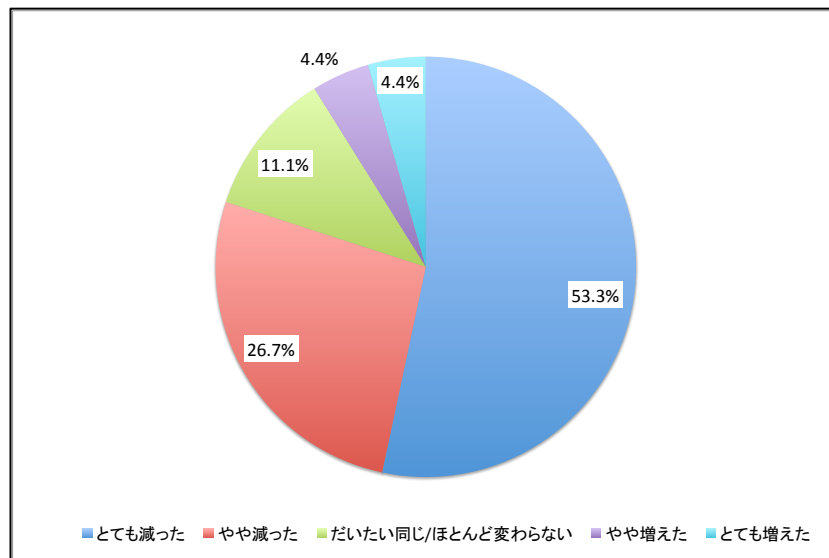


図 9 子どもの屋外での活動時間 (N=45)

- ★ 子どもに関する問題認識（図 10）→「自由に外で遊べない」、「友達との交流に制限がかけられている」、「友達と会う機会が減少している」、「学校外での学びや体験の機会が減少している」について、あてはまるという回答が目立った。

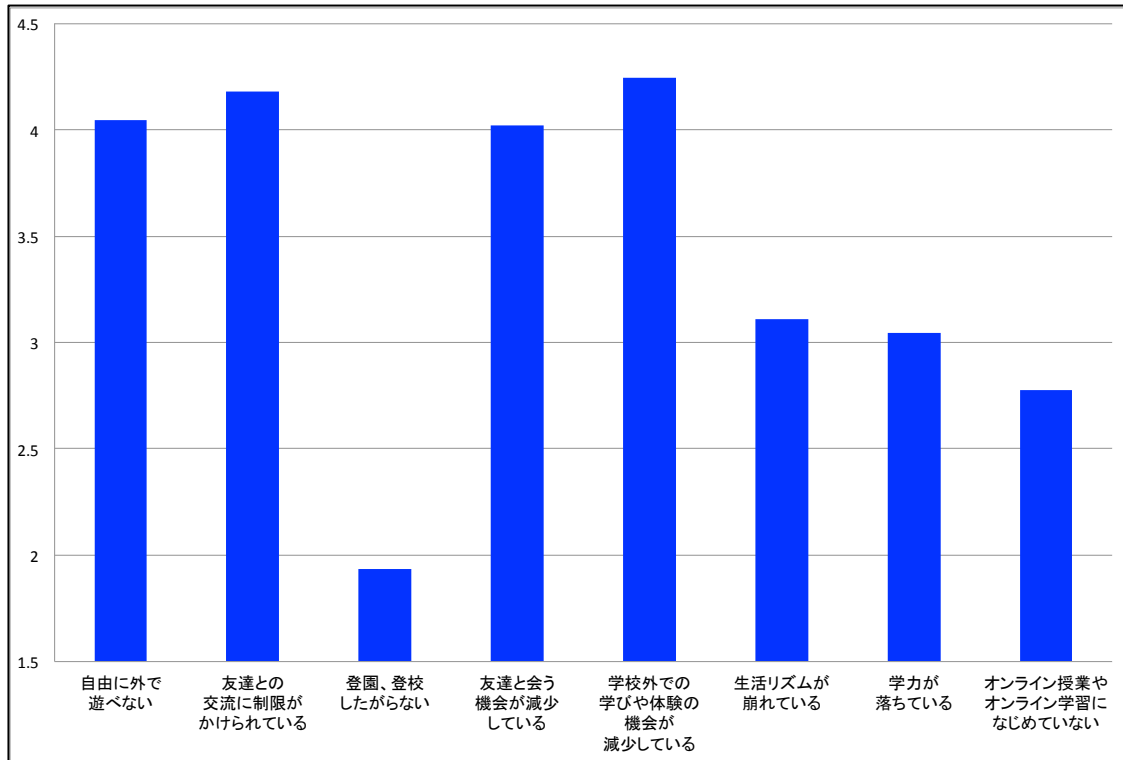


図10 子どもに関する問題認識 (N=45)

\*点数が高いほど、問題認識が高いことを示す (5点満点)。

- ★ 子育てに関するストレスや不満 (図11) → 「在宅での仕事や家事がしにくい」、「自分の時間をとることが難しい」、「スケジュールが変わって予定が組みにくい」といったことに、ストレスや不満を感じている割合が高い。

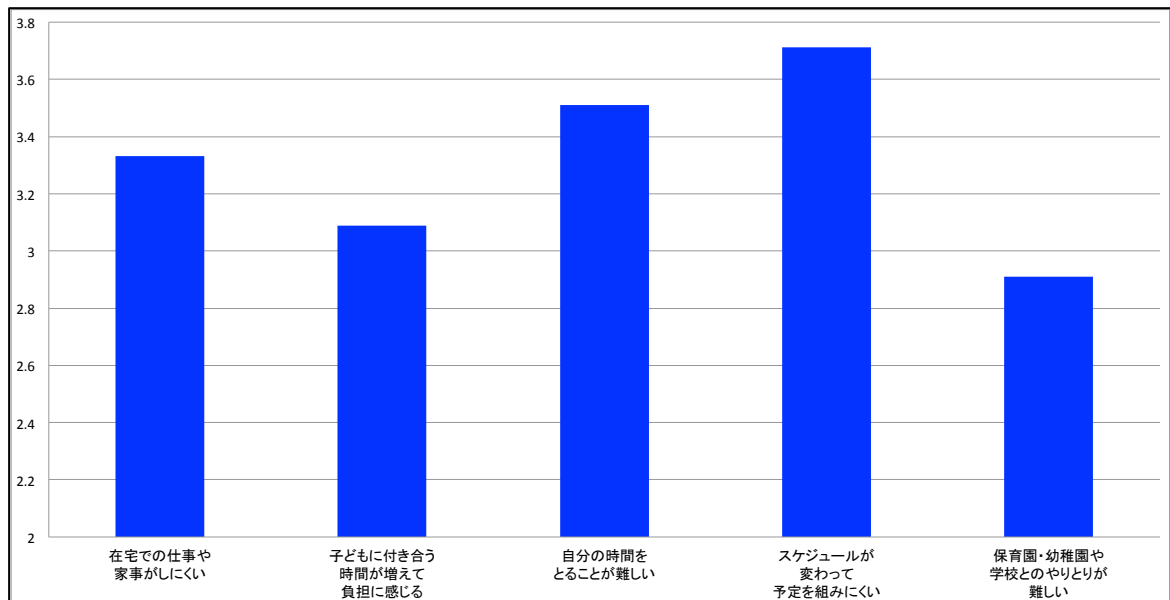


図11 子育てに関するストレスや不満 (N=45)

\*点数が高いほど、ストレスや不満が多いことを示す (5点満点)。

- ★ 子育てに関する不安やストレスの軽減の方法 (図12) → 全体的に取り組む割合が低いですが、特に「オンラインで友人・知人と話す機会を増やすようにしている」、「家族で家事・育児の役割分担を明確にし

ている」の割合が低い（ソーシャル・サポートが少ない状態にある）。

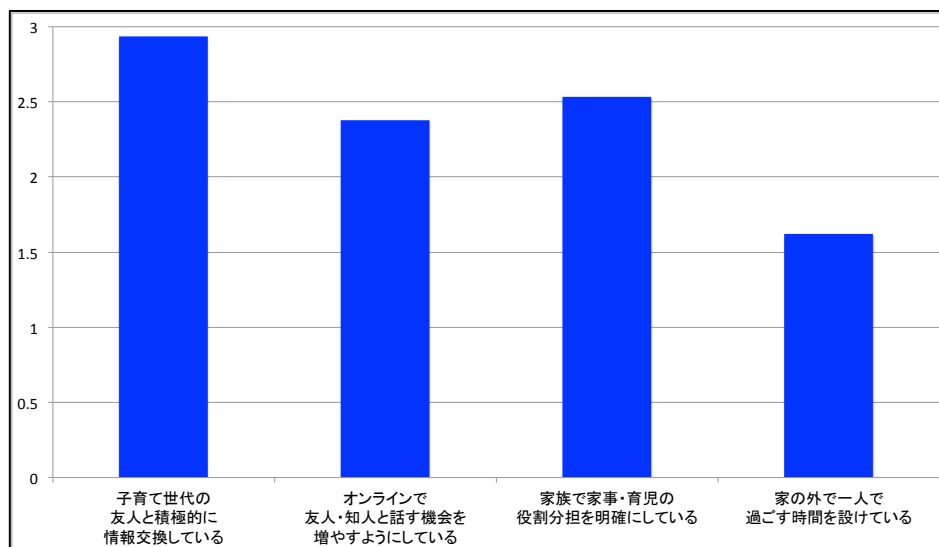


図 12 子育てに関するストレスや不安の軽減の方法 (N=45)

\*点数が高いほど、取り組みの割合が高いことを示す (5 点満点)。

- ★ 子育てに関する良い変化 (図 13) → 「子どもへの想いが深まった」、「子どもの気持ちや感情を深く理解できるようになった」、「配偶者や家族と話す時間が増えた」の割合が高い。

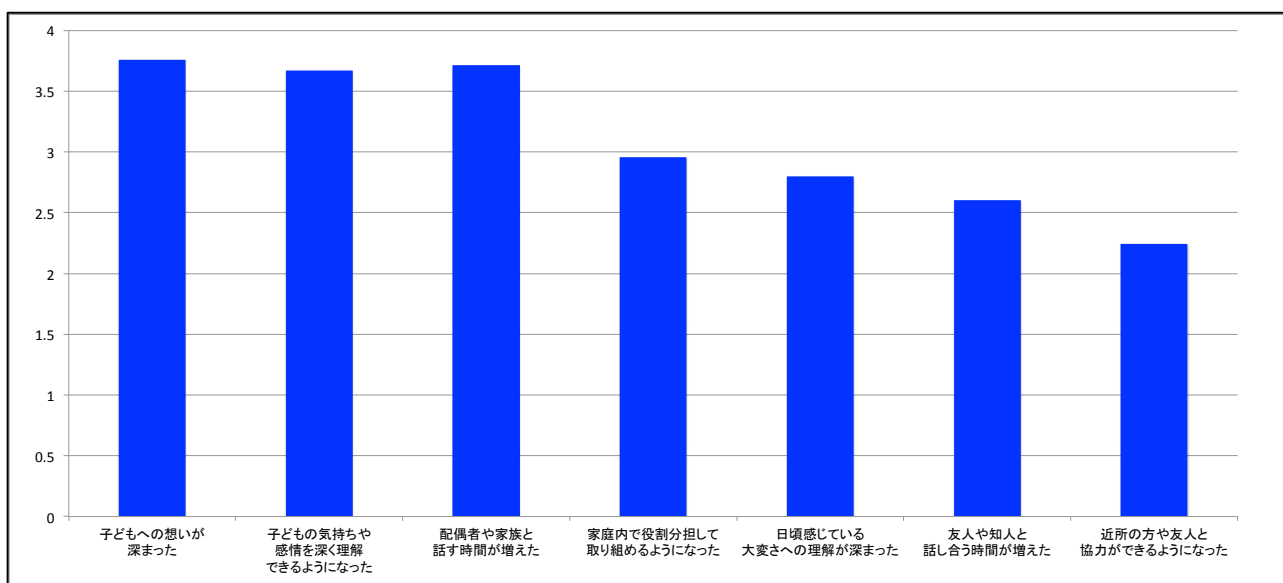


図 13 子育てに関する良い変化 (N=45)

\*点数が高いほど、肯定の割合が高いことを示す (5 点満点)。

- ★ 自由記述の結果 (概要)

- ① 子育てに関する悩みや困りごと→学習に関する家庭の負担の増加や、受験に関する不安。外で遊ぶ時間や交流の時間の減少への懸念。子どもが成長できる環境づくりを望む声など。
- ② 環境に関する悩み・困りごと→町内で買い物できる環境の少なさ。感染者が出た場合の温かい対応を望む声。母親である自分の時間が少ないという悩みなど。
- ③ 町内会・子供会に望むこと→講演会の Zoom での配信。オンラインでの交流。子どもたちの習い事やボランティア活動の充実など。